

株式会社紀之国屋

★機械器具の卸売・携帯電話の販売 筑豊地区 ★JR直方駅より車で10分

◎住所:直方市大字頓野字三本松970 ◎設立:1977年(昭和52年)8月10日 ◎資本金:4,000万円 ◎正社員数:48名
◎TEL:0949-26-1313 ◎事業所:直方市 ◎HP:http://www.kinokuniya-ya.ne.jp

石炭で栄えた面影を残す直方市にある同社は、昭和8年にペーリング販売により創業。昭和55年、金属加工工場を開設し、工作機械類の販売だけでなく省力機器の設計製作などにも進出。近年はauショップの展開や関連会社として人材派遣会社「㈱プロサポート」を設立するなど、多面的に事業を展開している。

採用実績データ	2013	2014	2015
過去3年新卒採用実績	1名	4名	3名
過去3年中途採用実績	5名	5名	6名

中途採用窓口開設中	17年採用窓口開設中	年間休日	残業時間	初任給	平均年齢	平均勤続年数
採用窓口開設中	採用窓口開設中	105日	—	14.5万~19.0万	37.2歳	7.6年



●●● 私たちの宣言内容 ●●●

- 育児休業中の代替要員を確保することにより、育児休業の取得を推進します。
- 休業からの復帰した社員に研修を実施します。
- 子の年齢にかかわらず、相談に応じて勤務時間の短縮や始業・終業時間の繰上げ・繰下げができるようにします。

女性社員のやりがい広がっています



推進担当 Aさん

子育てをしながら働きたいと思っている若手社員からは、自分も結婚、出産したら、育児支援制度を活用したいという声が届き、制度が浸透していることを実感しています。

紀之国屋からのメッセージ

これからの企業経営のキーパーソンは女性であると捉え、2010(平成22)年10月に総務部に女性係長を誕生させ、女性のやりがいと活躍の舞台づくりを加速させました。今ではauショップ各店にも女性店長を登用するなど、女性が活躍できる環境を整備。女性社員が妊娠した場合、仕事と子育てが両立できる環境を店長などと話し合い、育児休業を経て職場復帰しやすい体制にしています。具体的には復帰前に研修を行い、スムーズな復帰をサポート。更には、子育てとの両立を可能にするため、短時間での業務からはじめ、子供が大きくなるにつれて元の勤務形態へ戻ることができる制度を導入。子供の学校の用事がある時は優先して休めるように配慮しています。これらの取組により、これまでに延べ8名の方が職場復帰を果たし働いています。

平成19年度表彰企業

エフコープ生活協同組合

★卸売業、小売業 福岡地区 ★JR篠栗駅 徒歩5分

◎住所:糟屋郡篠栗町大字篠栗4826-1 ◎設立:1983(昭和58)年4月1日 ◎出資金:191億7,100万円 ◎正社員数:1,062名
◎TEL:092-947-9000 ◎事業所:【本部】篠栗町【共同購入事業】17支所【店舗事業】15店舗【その他】福祉事業等

◎HP:http://www.fcoop.or.jp/

福岡県内の5つの生協が合同して誕生したエフコープは、福岡県内で47万名が加入している九州最大の生協である。「ともに生き、ともにつくる、くらしと地域を基本理念に掲げ、食品や日用品をはじめ、保険や子育て支援、介護サービス、お葬式の手配、さらには新築やリフォーム等の住まいのサポートまで、暮らしを支える様々な商品やサービスを提供している。

採用実績データ	2013	2014	2015
過去3年新卒採用実績	6名	17名	-
過去3年中途採用実績	47名	68名	-

中途採用窓口開設中	17年採用窓口開設中	年間休日	残業時間	初任給	平均年齢	平均勤続年数
採用窓口開設中	2016年度は終了	111日	16時間(月平均)	21.1万(大学新卒)	42.6歳	13.2年



●●● 私たちの宣言内容 ●●●

- スタッフの子どもが働く親の姿を見ながら職場体験できる「ファミリーデー」を毎年実施します。多くのスタッフが参加できるよう参加対象者や企画内容を拡充していきます。
- ワーク・ライフ・バランスを推進するため男女ともに働きやすい職場環境や職場風土の改善を進めます。
- 所定外労働の削減のための措置を実施します。



女性スタッフ Aさん

女性に優しい働きやすい環境

1人目の子供を出産する際に育児休業と短時間勤務制度を利用しました。就職活動を行っていた時、自分の中で「女性に優しい職場環境であること」も企業選択基準の一つにしていたので、自分の選択に間違いはなかったと感じていますし、この環境に満足しています。

エフコープからのメッセージ

エフコープでは、子育て支援や働きやすい環境整備に関する取組として、育児休業復帰後小学校入りの9月30日までを上限に、短時間勤務制度(勤務時間6時間型又は7時間型)を利用することができます。また、本人の希望により、正社員から定時スタッフ(契約時間の範囲において週30時間を下限に個別に決定できるパートタイム)への移行も可能。育児事情の変化に合わせて、いつでも元の雇用形態に戻ることができる制度を整えました。さらに、年次有給休暇の計画的取得も推進しています。他にも、定時退社の呼びかけや効率よく働き時間内で終わらせる意識づけにより、時間外労働は前年比平均2~3時間減少し、「家族との絆が深まった」「リフレッシュ(旅行や趣味の満喫)できた」など喜びの声が多く集まっています。